

## 第5章 計画の推進

### 1. 計画の進捗管理

本計画の進捗状況の点検・見直しについては、必要に応じて行うこととし、稚内市からの点検・見直し結果の報告を受け、稚内市保健医療福祉審議会が市長に対し意見を述べることで評価を行います。

審議会の意見は、計画の見直しや関連する施策に反映されるものとします。

### 2. 市における計画の推進

#### (1) 庁内推進体制の整備

地域福祉に関わる課題や問題は、福祉、保健、医療はもとより、教育、市民活動、まちづくり、建設、経済など庁内の担当部局も多岐に及びます。

地域福祉に関する課題や問題を、あらゆる分野の部局が共有し、関連する部局間で連携して取り組める体制づくりを進め、全庁的に本計画を推進していきます。

#### (2) 市職員の意識や資質の向上

全ての市職員が、地域福祉に関わる課題や問題を共有し、高い意識を持ちながら各事業・施策に取り組む必要があります。

市民や地域から信頼される市職員であるためにも、市職員の地域福祉に関する意識の向上を図る取組を積極的に進め、市職員が地域に出向くことを重点的に推進します。

### 3. 目標達成のための手立て ～ 指標

#### 【目標値】

No.	項目	現状値 (2018年度)	目標値 (2023年度)
指標の説明・設定の理由など			
1	福祉に関心がある人の割合	71.1%	80%以上に増加
	地域福祉計画策定のための「市民アンケート調査」から		
2	福祉を必要とする人は、国や市町村など行政が支えるべきと考える人の割合	37.0%	30%以下に減少
	地域福祉計画策定のための「市民アンケート調査」から		
3	共生型拠点及び共生型サービス	0ヶ所	3ヶ所
	高齢者、障がい者、子育て中の親や子ども、その他地域の住民が自由に集える場、及び高齢者や障がい児（者）が共に利用できるサービス事業所の数		
4	ボランティア活動に参加している人の割合	10.6%	20%以上に増加
	地域福祉計画策定のための「市民アンケート調査」から		
5	民生委員・児童委員の地域の担当の方を知っている人の割合	24.8%	30%以上に増加
	地域福祉計画策定のための「市民アンケート調査」から		
6	社会福祉協議会の活動内容を知っている人の割合	23.9%	30%以上に増加
	地域福祉計画策定のための「市民アンケート調査」から		
7	地域包括支援センターが何のためにあるか知っている人の割合	26.8%	30%以上に増加
	地域福祉計画策定のための「市民アンケート調査」から		

No.	項 目	現状値 (2018 年度)	目標値 (2023 年度)
	指標の説明・設定の理由など		
8	基幹相談支援センターが何のためにあるか知っている人の割合	14.7%	20%以上に増加
	地域福祉計画策定のための「市民アンケート調査」から		
9	子育て支援センターが何のためにあるか知っている人の割合	24.2%	30%以上に増加
	地域福祉計画策定のための「市民アンケート調査」から		
10	自主防災組織結成数	8 町内会	34町内会
	地域の中で、共助としての防災活動に取り組む組織が結成されている町内会の数		
11	自殺死亡率（人口 10 万対）	24.9 (2016年)	14.7
	国は、自殺死亡率を10年間で30%以上減少させるとしていることから、国の5年後の目標値とする。		